

# 伊那市農業振興センターだより

運営委員長 原 一馬

## ※※重要なお知らせ 「5年水張り」について※※

農林水産省関東農政局から新たな情報の提供がありましたので、お知らせします。

このチラシの内容は「見直しの方向性」の公表であり、国が検討を本格的に開始する段階であるため、詳細は未定です。なお、本センターとしては新たな情報が入り次第、皆さまにお知らせします。このチラシの内容については、「関東農政局長野県拠点」にお問い合わせください。

↓農林水産省のチラシ抜粋



重要なお知らせです

## 経営所得安定対策 加入農家の皆さんへ

水田政策の見直しの方向性が公表されました

令和 9 年度から根本的に見直す検討を本格的に開始します。

＜以下、公表された方向性のうち水田活用直接支払交付金関係の抜粋＞

- 1 水田を対象としている水活を、作物ごとの生産性向上等への支援へ転換  
・令和 9 年度以降「5年水張りの要件」は求めない  
・令和 7 年、8 年は連作障害を回避する取組※を行った場合、水張りをしなくても交付対象とする
- 2 麦、大豆、飼料作物は、食料自給力向上の費用対効果を踏まえて、水田、畑に関わらず、生産性向上に取り組む者の支援へ見直すべく検討
- 3 産地交付金は、水田・畑に関わらず、中山間地域等の条件不利地域も含め、地域の事情に応じた産地形成が促進される仕組みとする見直しを検討

※土壌改良資材・有機物（堆肥、もみ殻等を含む。）の施用、土壌に係る薬剤の散布、後作緑肥の作付け、病害虫抵抗性品種の作付けその他地域農業再生協議会等が連作障害を回避する取組であると判断する取組をいう。

関東農政局長野県拠点

経営所得安定対策チーム

◆お問い合わせ TEL026(234)5575

## 春の農作業が本格化します。農作業事故に十分注意を！

令和 5 年の農作業事故の死亡者は全国で 236 人。就業者 10 万人当たりの死亡者は 11.6 人と過去最悪であり、危険な作業が伴う建設業の 4.6 人と比べ 2.5 倍の水準となっています。

農作業死亡事故の原因の多くは乗用トラクター、耕運機、運搬機、コンバイン等の転倒、転落によるものです。又、死亡者は高齢者が多く 80 歳以上が全体の 45.8%、65 歳以上では実に 85.7% を占めています。

春の農作業が本格化します。時間に余裕を持ち、計画的な作業に心掛けましょう。

### ★トラクターは走行、作業中の転倒・転落に注意！

カーブや道幅の狭い道路は徐行運転を。圃場の出入り口はより慎重な運転操作を。又、圃場作業以外はブレーキペダルの連結を。

- \* 安全フレームの確認・シートベルト・ヘルメットの装着を！
- \* 機械の点検調整の際は必ずエンジンを止めて行いましょう！

## 野 焼 き に よ る 火 災 に 注 意 ！

春は「畔草焼き、枯草等の焼却作業」が行われる時期です。この時期は空気が乾燥している事や、急に風が強くなるなど、焼却作業による火災や事故の発生が心配されますので、以下の点を参考に十分な注意をお願いします。

### 1. 焼却をできる限り回避する

畦草や剪定枝等の処分は、焼却以外の処分方法(堆肥化、土壌改良資材や敷草としての活用)を優先しましょう。

### 2. やむを得ず焼却する場合の注意

風のない条件で、必ず複数人で行い、焼却後は残り火がないよう、完全に消化を行いましょう。火災予防の為、水を入れたバケツ等を用意すると共に、消防へ連絡できる手段を確保し、万が一の事態に備えましょう。

## 凍 霜 害 対 策 を 万 全 に ！

地球温暖化の影響で、春先の果樹等農作物の生育の前進化が顕著となり、毎年凍霜害が心配されます。

伊那市及び J A 上伊那農作物災害対策本部の霜注意報等の情報を活用し、万全な凍霜害対策をお願いします。